

様式第1号（第2条関係）

(1) 危険物 仮貯蔵 承認申請書
仮取扱

(3) 消防署長 様		(2) 年 月 日	
		申請者 (4)	
		住所 _____	
		氏名 _____	
		電話番号 _____	
危険物所有者 (5)	住所	電話番号	
	氏名		
仮貯蔵・仮取扱場所		(6)	
現場責任者 (7)	住所	危険物取扱者名	
	氏名	免状種類	種類
危険物の類、品名及び 最大数量 (8)		指定数量の 倍数	倍
仮貯蔵・仮取扱の期間		(9) 年 月 日から (日間) 年 月 日まで	
仮貯蔵・仮取扱の方法		(10)	
仮貯蔵・仮取扱の管理		(11)	
仮貯蔵・仮取扱の理由		(12)	
消 火 設 備		(13)	
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄	※ 手数料欄

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
 3 仮貯蔵又は仮取扱を行う者の危険物取扱者免状の写しを添付すること。
 4 仮貯蔵・仮取扱の管理欄には、巡視の方法や回数等を記入すること。
 5 仮貯蔵・仮取扱場所の見取図、構造図その他必要な図面を添付すること。
 6 ※印の欄は、記入しないこと。

危険物仮貯蔵仮取扱承認申請書記入要領

項 目	記 入 内 容
(1)申請種別	仮貯蔵、仮取扱いのいずれか一方しか行わない場合は、実施しない申請を二重線で抹消します。
(2)年月日	申請書を提出する年月日を記入します。
(3)宛先	申請書を提出する消防署長を記入します。(気仙沼消防署長又は南三陸消防署長となります。)
(4)申請者	申請者の住所、会社名、氏名、電話番号を記入します。
(5)危険物所有者	仮貯蔵又は仮取扱い(以下「仮貯蔵等」という。)を行う危険物の所有者、管理者又は占有者について記入します。
(6)仮貯蔵・仮取扱場所	仮貯蔵等を行う場所の所在地及び名称を記入します。
(7)現場責任者	現場管理責任者の会社住所、氏名を記入します。また、危険物取扱作業に従事する者の氏名、資格区分を記入します。
(8)危険物の類、品名及び最大数量・指定数量の倍数	危険物の類、品名、仮貯蔵等をする最大数量及び指定数量の倍数を記入します。
(9)仮貯蔵・仮取扱の期間	仮貯蔵等の期間が 10 日以内となるように年月日及び期間を記入します。
(10)仮貯蔵・仮取扱の方法	仮貯蔵等の方法及び静電気対策や流出防止措置等の安全対策を具体的に記入します。(例) 200 リットルの金属製容器(ドラム缶)を貯蔵し、手動ポンプを用いてドラム缶から金属製携行缶への詰め替えを行う。安全対策は別紙のとおり。
(11)仮貯蔵・仮取扱の管理	標識等の掲示、バリケードの設置、消火設備や警報設備の設置等、危険物の管理方法や消火・監視体制等を具体的に記入します。
(12)仮貯蔵・仮取扱の理由	仮貯蔵等を行う理由を記入します。
(13)消火設備	消火設備名を記入します。(例) 粉末消火器 10 型 2 本

※各欄の記入事項を別紙にて添付することもできます。その際、別紙のとおりと記入します。